

第6次小山市行政改革大綱実施計画 進捗状況調査書

No.	取組項目		担当課・担当係	取組番号	区分				
44	公共工事コストの縮減		管財課	2-3-1-006	継続				
基本方針	分権時代に対応した人材育成と持続可能な財政運営	大項目 財政基盤の強化と計画的な財政運営	中項目 財政健全性の維持、経費の節減						
取組概要	厳しい財政状況の下、限られた財源を有効に活用した効率的な公共事業を推進するため、工事コストの縮減に取り組んでいる。コスト節減のほか工事の時間的コストの低減など公共工事に関する様々な要素について改善を行い、経費の節減を図る。		達成目標	公共工事コストを毎年度1%縮減	目標年度 H31				
推進計画		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
小山市公共事業コスト構造改善プログラムに基づき、毎年1%を目標にコスト縮減	活動計画	●	●	●	●	●			
	実施状況	—	▲	▲					
指標名		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計・最終目標	累計実績	達成率
縮減率	目標値	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	5.0%	0.0%	0.0%
	実績値	0.0%	0.0%	0.0%					
縮減額（対策前設計—対策後設計額）／対策前設計額×100	目標値	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000	210,000	0	0.0%
	実績値	0	0	0					
効果額(千円)	効果額の算出基礎 対策前設計と対策後設計額との差額								
年度	P 年次計画・目標		D 実施状況・主な取組内容			C・A 課題及び次年度に向けた改善内容			
H27	小山市公共事業コスト構造改善プログラムに基づき、毎年1%を目標にコスト縮減に努める。		震災の復興特需等により資材の高騰や担い手の不足等による市場単価が上昇していることから、コスト削減が難しい状況を踏まえ取組みを取下げる。 進捗度 D 計画より大幅に遅い			市場単価が上昇するなどのコスト削減が難しい状況を踏まえ、小山市公共事業コスト構造改善プログラムの見直しにより、取組みを取下げる。			
H28	1%を目標にコスト縮減に努める。		全国的に震災の復興特需等により資材の高騰や担い手の不足等による市場単価が上昇していることから、コスト削減が難しい状況を踏まえ、新たな取組みに向けた調査検討をした。 進捗度 D 計画より大幅に遅い			先進自治体の調査を行い、コスト削減が難しい状況であることから、コストと品質確保の観点両面を重視した「プログラム」の有効性や導入効果を検証し評価シート様式を見直す。			
H29	1%を目標にコスト縮減に努める。		東京オリンピック・パラリンピックや震災復興等による建設工事量の増大により全国的に技術者が不足しているため、建設費は高止まり状況であり、単にコスト削減の数値目標としては、達成することは困難であった。 進捗度 D 計画より大幅に遅い			少子高齢化や長年の建設事業量の減少により建設業全体の人手不足が著しい中、国県においては人材育成や確保へと施策を転換している。今度は単なるコスト縮減ではなく適正価格に努め、公共施設マネジメント計画に沿った、より計画的な公共工事の施行を図る。			
H30	1%を目標にコスト縮減に努める。		進捗度						
H31	1%を目標にコスト縮減に努める。		進捗度						